

本島内におけるヒトエグサ着生分布調査

瀬底正武 新垣盛敬

ヒトエグサ養殖場の未開発地域と天然採苗用種場の調査を実施し、適地の可能性について、本島東海岸と西海岸一帯を踏査したので、その概要を報告する。

調査期間 1969年1月16日から4月5日まで

結果と考察

- イ ヒトエグサの着生は沿岸いたるところで見られたが底質の状態により着生層の差異がかなり見られた。
- ロ ヒトエグサの着生繁茂が著しいところは内湾や、入江に面した河川水の流入域で底質が砂利や岩盤で平穏な地域で見られた。
- ハ 今回の調査で養殖場の適地は東海岸側より西海岸側に多く見られた。なおヒトエグサの着生分布図は、図-1に示した。
- ニ この調査結果に基づいて今後は適地漁場の綿密な調査が必要となろう。

ヒトエグサ着生分布図 図-I

